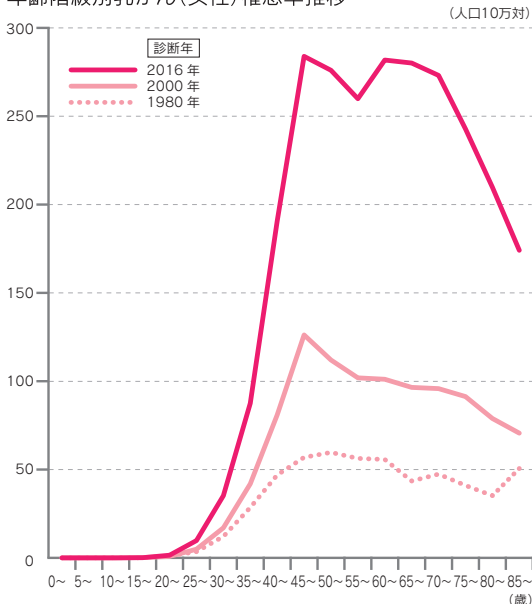


乳がんを良く知ろう!!

現在の乳がん

現在、日本人女性の9人に1人が乳がんにかかるといわれています。30歳頃から40代後半にかけて罹患率が急増し、その罹患数も年々増加傾向にあります。乳がんの危険因子にはいくつかあり、母親や姉妹に乳がんになった人が居る場合にリスクが少し高くなります。また、女性ホルモンのエストロゲンが関係するとされ、初潮年齢が若い人、閉経の遅い人、最初の出産年齢が高い人などもリスクが高まります。肥満やアルコール過剰摂取も乳がんのリスクに関与していると考えられています。

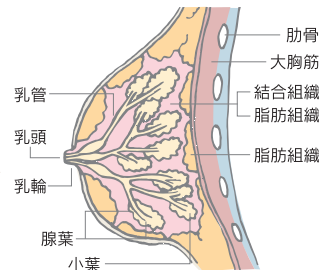
年齢階級別乳がん(女性)罹患率推移



((公財)がん研究振興財団 がんの統計'19より)

乳房とがん

乳房は乳頭を中心にして乳腺が放射状に並んでいます。乳腺は小葉に分かれ、小葉は乳管でつながっています。乳がんの約90%は乳管から発生し「乳管がん」と呼ばれています。小葉から発生する「小葉がん」は約5%を占め、乳管がん・小葉がんの他に特殊な型のがんもありますが頻度は高くありません。



((財)がん研究振興財団 がんどう付き合うか 乳がんより)

乳がんの症状

◆ 乳房のしこり

乳がんが5mmから1cmぐらいの大きさになると触れてわかるしこりとなります。全てのしこりが乳がんとは限りませんが精密な検査が必要になります。

◆ 乳房のえくぼなど皮膚の変化

乳がんが皮膚の近くに達すると窪みができたり赤く腫れたりします。皮膚が赤くなり痛みや熱を伴う場合は、「炎症性乳がん」と呼び、全身的な転移をきたしやすい病態です。

◆ リンパ節の腫れ

乳がんは腋の下や胸骨や鎖骨近くのリンパ節に転移し易く、これらのリンパ節に転移した場合、リンパ液の流れがせき止められ腕がむくんだり、神経が圧迫されてしびれたりします。

◆ 乳首からの出血分泌物